



【識蘆の滝】

しきろ
永源寺高野町

戦国時代の武将小倉実澄が、おぐらつねあき 応仁の乱を避けて逃れてきた学僧を迎え入れるために建てた識蘆庵に、その名は由来している。

2段の滝で落差は25メートル。上段と下段がねじれている姿に趣がある。向かって左側の岸壁に小さな不動明王が祀られている。

隠れた永源寺の秘境 識蘆の滝

まちの話題



今年で10年、清流の日一斉清掃 愛知川の環境を取り戻す地道な活動



愛知川清流会では、毎月の環境を守る活動のほかに、毎年8月の最終日曜日に、「清流の日」として河川の清掃活動を行っています。

今年は、8月28日、50人の参加者が約15kmを7班に分かれてごみ拾いを行いました。初回の平成25年は、大型ごみが不法投棄されており2.4tの回収量でしたが、近年は大幅に減少しています。コロナ禍の影響で自然を求めバーベキューをされる人が増加していますが、楽しんだ後はきちんと後始末をして、ごみは必ず持ち帰る基本的なマナーをお願いします。(愛知川清流会から情報提供)

水難事故再発防止に向けて 市・消防・警察が奥永源寺で啓発



この夏のゲリラ豪雨により奥永源寺で水難事故が相次いだことから、事故防止を呼びかける啓発活動が、9月22日、奥永源寺道の駅溪流の里やキャンプ場で行われました。

この日の啓発活動には、市、東近江警察署、八日市消防署、東近江土木事務所、奥永源寺地域アウトドアライフ推進協議会が参加され、道の駅奥永源寺溪流の里や4箇所のキャンプ場を訪れ、施設管理者に対して、天候の急激な変化への対応、利用者の早期避難などの注意喚起を呼びかけられました。

(関連記事 4.5 ページ)

第18回市民体育大会 永源寺地区予選の結果



【ボウリング大会】 9月9日

- 1位 田中 隼人さん (高木町)
- 2位 西 善彦さん (山上町)
- 3位 飯尾 正人さん (市原野町)

【ソフトバレーボール大会】 9月16日

- 1位 ミラクル
- 2位 永源寺倶楽部
- 3位 甲友会

【ソフトボール大会】 9月25日

- 1位 山上
- 2位 市原野
- 3位 3部 (藤の森・青野)

木星や土星がくっきりと 環境部会が星空観察会



10月1日の夜、まちづくり協議会環境部会の主催で3回目の星空観察会を開催しました。

この日は、井田三良先生を講師に迎え、小学生親子12組40人が参加しました。

永源寺グラウンドで澄み切った夜空を見上げながら、夏の大三角(ベガ、デネブ、アルタイル)、木星、土星など肉眼で見える星座を指さしながら迎っていました。

また、参加者は順番に木星と土星を大きな天体望遠鏡でのぞき込み、美しい惑星を観察されました。



避難所運営を シミュレーション



どのグループも机に身を乗り出し、矢継ぎ早に来る難題を解決しようと熱心に話し合われました。



避難所運営を
シミュレーション

9月3日、永源寺コミュニティセンターで第2回コミュニティ防災講座が開催されました。

今年は、子どもたちを守る視点で避難所運営について考えようと、福祉防災コミュニティ協会の湯井恵美子さんを講師に迎えました。

この日は、学校関係者、民生委員、福祉の会をはじめ自治会や消防団、各種団体から48人が参加され、グループに分かれて

出題される設問を熱心に話し合われました。

避難所運営をシミュレーションする中で、子どもたちや障害のある方に、できるだけストレスが掛からないよう部屋の配置や必要な備蓄品、提供できる物資の在庫も考えながら、避難所運営を学ばれていました。

どのグループも避難されて来た方たちのことを一生懸命思いやられていて、自分たちの休憩場所を考慮されてなく、講師の先生から「まず自分を守ってください。元気でないと活動できませんよ」と指摘されていました。最後に「子どもたちは学校の避難訓練で何度も教わっていて、大人以上に身を守る術を知っている。子どもの力を信じることも重要」と、アドバイスをいただきました。

参加者は、「リアルな話が聞けて勉強になった」「シミュレーションは難しかったが自主防災マニュアルの見直しが必要と感じた」「是非続きをやりたい」「年に何回かやればよい」と話されていました。

東の玄関口をきれいにしよう

杠葉尾町村作り委員会



杠葉尾町は、国道421号を三重県方面から来た人にとって初めての集落です。

そこで、

「杠葉尾町村作り委員会」が、2021年度の「東近江の森と人をつなぐ、あかね基金」に「東の玄

関口をきれいにしよう」プロジェクトで応募しました。荒廃した田んぼにタラの芽を植えたり、茶畑用のススキが刈り取りしやすいように車道をつきました。そして、県立大学の茶レンジャーたちに刈り取りをお願いしました。

春には、有志でスイセンを移植したり、ラベンダーを植えました。また、桜や桃の木も植え、アジサイや桜の木を挿し芽で育てています。荒廃茶園も整備し、焙煎茶として活用できるようにも取り組んでいます。

梅雨明けに植えたひまわりが9月の中旬になって満開となりました。三重県に行かれた帰り道、水車とともに注目していただけたらうれしいです。

また、今後景観を維持改善するための作業に皆様のご協力をお願いします。



神崎橋手前の農地を活用した満開のひまわり畑



水難事故の現場 消防がボートで救助

今年の8月に局所的な大雨により愛知川及び神崎川が急激に増水し愛知川では親子3名が中州に取り残され、神崎川ではシャワークライミングをしていた50名が中州に取り残される水難事故が発生しました。その翌月にはキャンプ場に来ていた男女2名が河川に流される事故が発生しており、十分な注意が必要です。



普段の愛知川の状況



増水直後の状況

上の写真は同じ場所の平常時と増水直後の状況になります。晴れていても河川の上流で大雨が降れば鉄砲水が発生する可能性があります、一瞬で状況は一変し、逃げ遅れる危険性があります。こんなときはすぐに川から離れましょう！

- 大雨注意報、警報が発表されたとき
- 川の上流の空に雨雲や積乱雲が見えたとき
- 上流から落ち葉や流木が流れてきたとき
- 雷が聞こえたとき

気象情報は気象庁のホームページで確認できます。こまめにチェックしましょう。↓↓

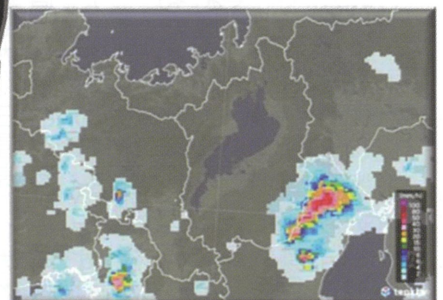
●気象庁 ~雨雲の動き~



鉄砲水に要注意!

晴れた日の

※雨雲レーダーで他府県の大雨であっても滋賀県側で災害が発生させる場合があります。



東近江行政組合八日市消防署



安全な登山のために

楽しいはずの登山ですが、山には危険が潜んでいます。ちょっとした気の緩みや無謀な計画での遭難や滑落も頻発しています。

安全な登山を行っていただくために、鈴鹿10座エコツアーガイドクラブの藤澤長之さんに、お話をお伺いしました。

登山と水

登山をしていて水を飲むことの大切さ、水の飲み方は非常に重要なことです。登りはじめて最初の小休憩時には、必ず水を飲みましょう。トイレを心配して水を飲まないようにしていると、たいへんなことになります。少しずつ何回にも分けて計画的に飲むことが大切です。体の水分が不足して脱水症状になり、いろいろな障害がでてきます。谷川の生水は危険です。

水は多めに持参してください。季節や天候にもよりますが、1人1日1リットル～2リットルの水分補給が必要とされています。汗を多くかいて喉が渇いていても、がぶ飲みするのはよくありません。体調不良となり疲れの原因となります。水とあわせて行動食を摂るか、塩分、ナトリウム、カリウムの入ったスポーツドリンクを摂ることによって筋肉痙攣予防となります。

予備の水は緊急用、非常用として、怪我をしたときの傷口を洗う、目に異物が入ったときに洗うなどに使えます。万一遭難したら、水がなくては生きていけません。楽しい安全な登山のために、うまく水分補給をしてください。

登山の道迷いに注意

山岳遭難の原因となる道迷いについて、私自身の迷った事例を挙げると、

1. 目印のテープを過信するな

登山者が付けたと思われるテープを目印にして進んだところ、谷川に出てしまい、登山道からかなり外れ、もと来た道に戻った。溪流釣りの方や山の持ち主の方が付けている場合もあります。また、登山道は目印となるテープが付いていても、土砂崩れ、倒木、雑草の繁茂により、登山者が通らなくなって廃道化しているところもあります。

2. 谷川を渡った後は慎重に

靴を濡らさないように谷川を慎重に渡った後、一安心して気を抜いてしまい、以前も来ている登山道なのに、踏み跡が少なく進行方向を迷ってしまった。

3. 上りと下りでは風景が異なる

山頂で昼食をとり下山途中、上りと同じルートでもあるにもかかわらず、来た道と違う方向に踏み跡らしきものがあったことから、しばらく行って間違いに気づき、もと来た道まで戻った。

同じ登山道でも、上りと下りでは風景が異なり、山では目標物も少ないことから間違えることがあります。

【道迷いの防止のためには】

1. 登山地図とコンパスを持参し、登山道の途中で現在地を確認する。スマホの地図アプリで現在地が表示されるものもある。

2. 登山は、朝少し早出することによって時間的に余裕ができ、道迷いがあっても慌てず冷静な判断ができる。

3. 事前に登山計画をたて、登山届けを出しておく。登山ルート、所要時間などをしっかりとっておけば安心です。

4. 登山前日には天気予報を確認しておく。悪天候が予想されるときは、計画していても中止する。雨天、荒天時は視界不良となり、道迷いなど遭難してしまいます。

登山に必要な装備

1. 登山靴

運動靴ではなく、履き慣れた登山用の靴。靴底のゴムが剥がれそうでないか、靴紐が切れそうでないか、確認しておく。

2. 雨具

山の天気は変わりやすいので、晴れていても必携。雨合羽ではなく、透湿防水性のある上下セパレートタイプの下がズボン状となっているもの。ゴアテックス素材がベストです。防風、防寒用としても必要。色は目立つような色がベスト。

3. 地図とコンパス

地図上に、あらかじめ磁北線が引かれているもの（なければ引いておく）。コンパスは、シルバ

コンパスと言われるボディが透明なもの。地図の上に置いて見られるように。

4. 携帯電話

山ではバッテリーの消耗が早いので、十分な充電と予備バッテリーの準備が必要。万一の連絡手段として、本当に必要なときのみ使用する。

5. 行動食・非常食

疲れたときでも食べられ、食べやすくカロリーのあるもの。飴、キャラメル、チョコレート、あんぱん、羊羹など。万一の備えとして多めに。

6. ヘッドランプ

万一の下山遅れに備え、日帰り登山でも必携。**※当然ですが、主食、水、ザック、帽子、手袋が必要です。**

小椋谷 (政所・蛭谷・君ヶ畑) の能面・能装束

東近江市指定文化財に登録

このたび、東近江市の指定文化財に政所、蛭谷、君ヶ畑に伝わる能面や能装束 5 件、27 点が新たに登録されました。

小椋谷の演能文化の一端を示す貴重な資料として評価されています。



左から般若 (はんじゃ)、鼻高 (はなだか)、賢徳 (けんたく) の3面 (八幡神社所有)

●能面 2面 (蛭谷町 筒井神社)

筒井神社には、若い男と癡見(べしみ)の2面の能面が伝来する。何れも古様で我が国の能面史上貴重な作例である。木地師と縁の深い同社に古様な能面が伝来することは注目すべき点であり、同社における演能文化の一端を伝える資料として貴重である。(室町時代末期～桃山時代)

若い男(右)と癡見(左)の面



●能装束及び関連裂 3領5枚 (政所町 八幡神社)

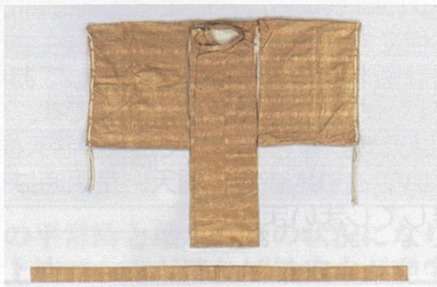
八幡神社には、能面とともに能装束 5 領と 5 枚の裂が保存されている。この内、2 領(1 領は附指定)が重要文化財に指定されているが、残る能装束(3 領)と裂(5 枚)についても遺例が少なく、染織史上貴重な資料である。木地師の文化を伝える小椋谷に伝来する演能史を語る文化財として積極的な保存を講じる必要がある。(桃山時代～江戸時代末期)

能装束3領



●淡茶地草花文様 錦狩衣 1領 (君ヶ畑町 大皇器地祖神社)

本狩衣は染織史上、遺例が少ない貴重な資料である。関連する資料が現存しないため詳細は明らかではないものの、本狩衣に対応する能面とともに大皇器地祖神社の蔵に保管されてきた。拝殿が舞殿(マイト)と呼ばれていることから、両者は同時期に用いられた可能性があり、当地での演能開催を知るうえで貴重な資料である。(江戸時代後期)



●能面 6面 (君ヶ畑町 大皇器地祖神社)

大皇器地祖神社には 6 面の能面が伝来する。この内、翁/白色尉(おきな/はくしきじょう)、三番叟/黒色尉(さんばそう/くろしきじょう)、父尉(ちちのじょう)、延命冠者(えんめいかじや)が揃っていることから、当地では少なくとも室町後期には国土安穩・五穀豊穡を祈る神事が催されていたことが推測される。翁、三番叟はその後追加されたことが知られている。これらの能面は、当地での演能文化の一端を示す資料として貴重である。(室町時代後期～江戸時代中期)

翁(左)と延命冠者(右)の面



●能面 10面 (政所町 八幡神社)

八幡神社に伝来する能面 30 面の内、未指定となっている 10 面。この内、翁面、三番叟、父尉は文化 8 年(1811)の火災で罹災し焼損が著しいが、室町前期まで遡る優品。鼻高面(はなだかめん)も室町

文化8年の火災で焼損した翁、三番叟、父尉の3面(左から)



中期に制作された悪霊退散役の猿田彦(さるたひこ)の面で、重厚な趣をよく残している。その他の 6 面については江戸時代以降の作例である。

八幡神社に伝来する能面は、室町前期から江戸時代後期における当社の演能の一端を伝える貴重な作例であり、我が国の能面史を考えるうえでも貴重な資料である。そのため、個別に指定保存するのではなく群として保存を図る必要があることから、昭和 43 年に指定された 4 面と、平成 4 年指定の 16 面を統合し、これに今回の 10 面を追加指定し、能面 30 面を一体として保存するものである。(室町時代前期～江戸時代後期)

こんにちは保健師です ⑬

頑張らない！朝食準備の工夫

毎日朝食を食べるためには、手軽に準備できることが大切です。頑張らずにできる工夫を紹介します。



■前日に準備

みそ汁の具を電子レンジで加熱しておくだけ、サラダの野菜を切っておくだけでも、翌日の準備が楽になります。

■缶詰、冷凍・カット野菜で簡単・時短

缶詰とカット野菜、即席みそ汁に冷凍野菜など、包丁・まな板不要でも立派な朝食に。



■夕食をリメイク

夕食のひじき煮を入れて卵焼き、夕食の筑前煮にだし汁を加えてのっぺい汁など、夕食の残りが新しい一品に。

朝食は、一日をスタートさせる大事なエネルギー源です。しっかり食べて、元気な毎日を過ごしましょう。



東近江市のホームページもぜひご覧ください。

東近江市 健康づくり



永源寺地域が登場する本・雑誌

永源寺図書館提供

『dancyu』 2022年8月号



「ニッポン美味紀行」のコーナーで政所茶が大きく取り上げられています。岡田トシ子さん・疋出さしさん・福井たか子さんが並んで笑顔で写る茶畑の写真が掲載されているほか、政所茶レンジャー、白木佳代子さんの平番茶、日登美山荘、山形蓮さん一家が紹介されています。文章は作家の梨木香歩さんです。

※永源寺図書館の「木地師の里」コーナーに、本といっしょに置いています。

『この場所、何かがおかしい』

最東対地/著 X-Knowledge

ホラー小説家がめぐる、全国各地のちょっとヘンなところ。滋賀県からは沖島と並んで、山上町の「案山子畑」が紹介されています。



創業 70 年、確かな技術と幅広い知識で豊かな生活をサポート

高低圧電気工事・家電販売・給排水衛生設備工事



増田電気商会

0748-27-0523

050-8034-4646



芝生映える園庭で 思いっきり!運動会

永源寺もみじ幼稚園

10.1 3・5歳児運動会



地元のお宝
スポットを巡ろう

コミュニティセンター講座

子どもお宝探検隊



8月6日 識蘆の滝

2段の滝から流れるエメラルドグリーン
の滝壺はとても神秘的。
マイナスイオンをたっ
ぷり浴び、参加者から
はとても気持ちよく、
癒されましたとの感想
をいただきました

10月1日 永源寺ダム

広大な永源寺ダムを
湖上橋から見学しまし
た。なかなか見ること
のできない場所も永源
寺ダム管理事務所の方
より説明をしていただき
、子どもたちは興味津
々でした。



東京で木地師のシンポジウム開催

東近江市では、木地師のふるさととして、木地師文化を継承・
発信する事業に平成28年度から取り組んでいます。

今年は9月18日に東京国立博物館で「木地師と漆～未来を
紡ぐ伝統文化～」と題した市主催の公開シンポジウムが開催さ
れ約160人が参加されました。シンポジウムでは、東京藝術
大学名誉教授の三田村有純さんから「日本の基層文化としての
漆芸」と題した講演のほか、パネルディスカッションとして小
椋市長や講演者を含めた5名が登壇され、漆作家、研究者、行
政の多様な視点から木地師文化、漆器産業の課題と展望につ
いて意見交換が行われました。

閉会に当たって副実行委員長の
福井均永源寺地区まちづくり協議
会長は、「本物の木地師製品や漆
の製品は高価ですが、大切に使っ
ていく気持ちを大事にしたい。木
地師文化を通じて全国とつなが
っていきたい」と挨拶されました。



健康診断などで「あなたは、軽い運動
や体操をしていますか」「定期的な運動
スポーツをしていますか」などの質問を
受けることがある。毎日続けているもの
は何もなく、強いていえば昨年の5月か
ら毎週日曜日の朝、地域で行われている
ラジオ体操に参加していることくらい
だろうか。これが結構気持ちがよく、第
二体操を終えた頃には胸がスツツとし
て肩が軽くなっている。ラジオ体操は、
足が痛くて立ってできないときは椅子
に座ったままで、また、シルバーカーに
座った状態でもできるので地域でされ
ているところがあれば、ぜひにかけてほ
しい。これは「フレイル」予防にもつな
がると思う。最近、講演会や新聞、テレ
ビなどで見たり聞いたりする言葉で、
「加齢に伴って心身が衰える状態のこと
」だそうだ。対策としては、栄養と運
動、社会参加を意識し、進めることで予
防や改善につながる。ラジオ体操を
はじめ、グラウンド・ゴルフ、ゲートボ
ール、地域でのサロンなど外に出れば体
を動かすことになり、人と会うことで
コミュニケーションが生まれる。
そんなわけで私も、友達の誘いを受
け、最近グラウンド・ゴルフを始めた。
ゲームを楽しむことからスタートして
三か月。クラブの持ち方や、クラブの傾
斜角度によって思っようにボールが打
てないことや、ホールポストと自分の
距離間が全くつかめず、4打、5打は当
たり前。それでも外に出て体を動かし仲
間と同じ時間を共有することの大切さ、
楽しさをひしひしと感じている。声をか
けてくれた友達に感謝している。(F・
K)

編・集・後・記